

一般社団法人静岡県測量設計業協会

第516回 理事会（役員会）議事録

日 時 令和元年11月26日（火） 14:55～16:45

場 所 （一社）静岡県測量設計業協会会議室

出席者（理 事）藤山義修、鈴木達美、山村卓道、宮島直久、亀谷寧一
小澤和宏、近藤拓己、鈴木正明、松井藤雄、望月良明
（監 事）鶴田忠男
（相談役）杉山 博

理事10名のうち10名が出席し、定款第32条第1項による定足数に達している。

議 長 定款第31条第1項の規定により、藤山義修会長が議長となる。

議事経過の概要とその結果

議題1 測量法施行規則の一部改正する省令に伴う協会会費請求根拠資料の提出

望月事務局長から測量法施行規則の一部改正に対する意見募集と、施行された場合、同法第55条の3の規定による書類が簡素化され、売上高による協会会費徴収のうち兼業事業売上高の記載が無くなり、徴収の根拠が無くなるので、他県測協の事例を参考にした様式での次年度からの徴収提案がなされた。

理事会は、審議の結果、各自持ち帰り検討して再度審議することとした。

議題2 総合評価落札方式の業種の追加（測量）について

望月事務局長から11月15日静岡県建設技術監理センターの担当者が来年1月の県交通基盤部土木関係総合評価審査委員会に諮りたいため、協会の意向をたずねてきた。

会長は時期尚早と説明し、理事会の意向を11月27日事務局長がセンターへ説明に行くことで、理事会は了承した。

議題3 事務局職員給与等について

望月事務局長から職員賞与（冬）の支給率の提案説明があり、11月13日正副会長会議で審議したものであることを報告した。理事会は提案を承認した。

議題4 機関誌「静測協2020新年号」(全測連関係配布先・校正)

望月事務局長から機関誌の配布先と校正の説明があり、配布先については送られてこない県測協を除き節約する提案があったが、協会活動報告として全箇所配布することと校正について、理事会は了承した。

議題5 静測協関係の研修会・講習会について

望月事務局長から来年度の研修会予定と内容について、1日としてCPD点数のアップの説明があった。理事から研修は半日単位で行うように求められ、今後、研修会・講習会は基本的に半日とすることで、理事会は承認した。

議題6 台風19号の災害対応について

望月事務局長から10項目について話があった。

- ① 県内の被害状況については、県のHPから危機管理部の第22報11月15日現在の資料により報告があった。
- ② 会員の支援協力状況については、取りまとめ表から東部を中心に中部・西部会員の協力もわかる資料となった。
- ③ 東部支部長による報告については、資料による説明があり、他の土木事務所等の協力が得られてないことが分かり、この対応が必要と認識した。
- ④ 沼津土木と静岡市の対応については、発注者の沼津土木は契約の1時延期を認め、提出書類も簡素化された。静岡市は会員の要請により災害による工期延期理由を認め、事務の手続きが簡略された。
- ⑤ 全測連東北地区協からの災害支援の再要請については、1回目の要請と同様に協力する会員はいないことが報告された。
- ⑥ 平成30年西日本7月号による広島県測協の対応資料については、今後の対応の参考となるため、活用できるようにしていくこととした。
- ⑦ 岐阜県測協の平成30年の災害による県との協定の見直しがあったので、参考までに資料が配布された。
- ⑧ 新版「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の来年度からの事務局の購入については、会員が仕事として使う以上、会員が購入することで理事会は了承した。
- ⑨ 会員名簿等への災害時の応援可能工種の表示については、引続き工種内容と掲載方法等を今後検討していくことで、理事会は了承した。
- ⑩ 沼津土木との大規模災害時の初動対応の勉強会については、資料のとおり東部支部と事務局により行っていくことを、理事会は了承した。

報 告

1 静岡県企業局との災害等に関する協定書締結（令和元年11月15日）

望月事務局長から今月の15日に締結された報告があり、応急対策業務協力者名簿提出の提案説明があり、会長から4会員の意思を確認して報告することとした。

2 平板測量競技会審査員関係（11月28日開催）

望月事務局長から11月28日に第1回競技審査検討会あり、審査員の代表者3名が出席する報告があった。

3 委託業務の成果品の適切な取り扱いについて

望月事務局長から県との意見交換会の要望案件のひとつが、県建設技術企画課から関係者に通知したことが報告された。

4 第1回土木積算システム運営委員会（11月26日）報告

望月事務局長から理事会の前に開催された委員会内容と今年度の合格者の報告がなされた。

5 10月17・18日社長研修会報告

望月事務局長から収支報告がなされた。

6 清水港開港120周年記念事業実行委員会幹事会（第5回12月4日）開催

望月事務局長から会長代理の吉本氏が出席する報告があった。

7 東和設計(株)からの災害見舞御礼

望月事務局長からお礼の報告があった。

8 地理的空間情報産学官中部地区連携協議会の開催（令和2年2月12日）

望月事務局長から亀谷技術委員長の参加報告があった。

9 行事予定表

望月事務局長から行事予定表を基に、主な日程の報告がなされた。

10 その他

- ・ 知事との年始挨拶の日程は、例年 12 月中旬に決まることが報告された。
- ・ 県との意見交換会の質問のうち、特記仕様書の出典がわかり、県農地の方に問合せをしていることが報告された。

以上の議事が正確であることを証するため、定款第 33 条第 2 項の規程により出席した会長及び監事が記名押印する。

令和 2 年 1 月 22 日

会 長

代表理事 藤 山 義 修 ⑩

監 事 鶴 田 忠 男 ⑩